

工場閉鎖反対！ 門前工場を再開せよ！

新たに石川サンケンの不当労働行為救済申立！（6月3日）

会社が組合との合意なく「経営権」「業務命令」をふりかざして6月3日門前工場閉鎖・6日異動を強行したことに対し、門前サンケン支部の仲間はいくまでも工場閉鎖・異動に反対して、異議を留めて志賀・町野工場へ異動し、会社に対する裁判闘争・県労委闘争を継続し、さらに新たな不当労働行為救済を申し立て、とりわけ多くの仲間が退職を強いた会社の組織破壊を絶対に許さず、団結して門前工場の再開を求めて闘っていきます。

今後ともご支援をお願いします！

存続求め闘い続ける

石川サンケン 組合員が臨時大会
門前工場閉鎖

半導体メーカー石川サンケン（本社・志賀町）が、門前工場（輪島市）の閉鎖を組合側に伝えていっていることを受け、全国一般石川地方労働組合門前サンケン支部は五日、同工場で臨時大会を開き、閉鎖反対の闘いを続けていくことを確認した。

支部の組合員百十人と全国一般石川地方労働組合の久田友恒執行委員長、連合石川の上田弘志会長らが出席。下野和子・支部長代行が「悔しい限り。会社による組合つぶしは明らか。閉鎖に合意した

わけではなく、団結し、工場が再開して戻ってくる日を信じて闘いましょう」と呼びかけた。

組合によると、会社側は三日付で門前工場を閉鎖し、六日から従業員の志賀、町野工場への異動を組合に通知した。組合は五月十三日に閉鎖差し止めを求めて金沢地裁七尾支部に提訴している。また

今月三日、会社側が労働使の合意なく工場閉鎖や全従業員の異動を一方的に決定し通知した。など不当労働行為があるとして県労働委員

会に救済申し立てをした。

異動通知により、通勤困難や家族の介護などを理由に、二十九人が退職を余儀なくされた。組合は「異動にはやむを得ず応じるが、退職する人の思いを受け止め、存続を求めて法廷で争っていく」としている。

（小塚泉）

北陸中日新聞
6月6日



北陸新聞
6月6日

サンケン門前工場
閉鎖差し止め求め
全国一般支部
石川サンケン（志賀
一般石川地方労働組合同

町）が輪島市門前町本市の門前工場を閉鎖する方針を受け、閉鎖差し止めを求める全国一般支部は五日、同工場で臨時大会を開いた。

同組合によると、門前工場は3日に生産を停止。従業員のうち29人が6日付の同工場から異動を前に、同工

場以外には通勤できないとして退職した。大会には従業員ら約150人が参加。下野和子支部長代行が「分かれて勤務しても門前工場の再開を信じて闘

同組合の久田友恒執行委員長らがあいさつした。